CITIZEN®

電波時計　取扱説明書
（デジタル電子音目覚まし時計）

～ 製品の特長 ～

●カレンダーと温度、湿度表示
●温度と湿度の状態により注意報を表示

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元　リズム時計工業株式会社
〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp
取扱説明書番号 D100-CGXZ
（Y1205）

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番　8RZ134

※保証期間

お買い上げ　年　月　日より　1年間

お客様ご氏名　様

ご住所

TEL(　)　－

※販売店印（住所、店舗名、電話番号）

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

※印は販売店記入

保証について

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1.保証書のご提示がない場合。
2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7.ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8.電池の交換

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●**修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、３年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●**修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●**転居または贈答品の場合**
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先
お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ134」をお伝えください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ずすることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る
誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止
電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●漏れた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

必ず守る
電池の⊕⊖を正しく入れる
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

禁止
強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

分解禁止
分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

禁止
下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（ 太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

おもな製品仕様

項目	仕様
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと（液晶表示可読温度範囲0～40℃）
時間精度	電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（常温中のクオーツ精度）
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P　2個
電池寿命	約1年 1日当たりアラームを音量大で30秒鳴らし、照明を3秒点灯した場合
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正
受信局	福島局 / 九州局自動選択
受信ON／OFF	あり
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の時間帯の16分40秒
アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
音量	大 / 小　選択方式
スヌーズ機能	あり（止めても鳴る）
オートストップ機能	あり（自動鳴り止め）
カレンダー	2011～2099 年対応
時刻表示形式	12時間／24時間　選択方式
照明	液晶表示部を LED で照明
温度	
表示範囲	−9.9 ～ 50℃
温度の精度	±2℃
湿度	温度が5 ～ 50℃のときに表示
表示範囲	20～95%RH　㈱
湿度の精度	±10%RH

㈱湿度は相対湿度です。「%RH」は単位です。
天気予報など一般には「%」が使用されています。
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。
40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※アルカリ乾電池を使用することができますが、他の種類と混ぜて使わないでください。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 単3形マンガン乾電池　2個　取扱説明書・保証書　本書

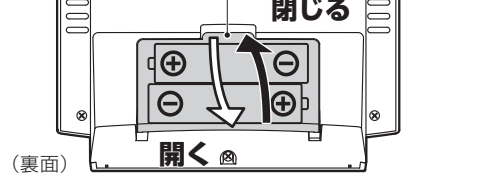
各部の名称

注意報の項目は常に表示。
注意報の状態になると点滅します。

※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。
※図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、手動での時刻合わせをお読みください。

（電池ぶた　閉じる　開く　（裏面））

電池を入れるとき

①電池ぶたを開けてください。
②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。
③電池ぶたを閉じてください。
※電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ 電池を入れる
電池を入れると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えすると鳴らないことがあります。

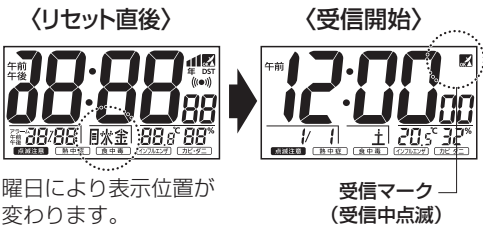
❷ 爪楊枝（つまようじ）など細いものでリセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
※ **受信中はボタンに触れないでください。**

❸ 21分待ってから受信結果を確認する
受信は最長で21分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

〈リセット直後〉 〈受信開始〉

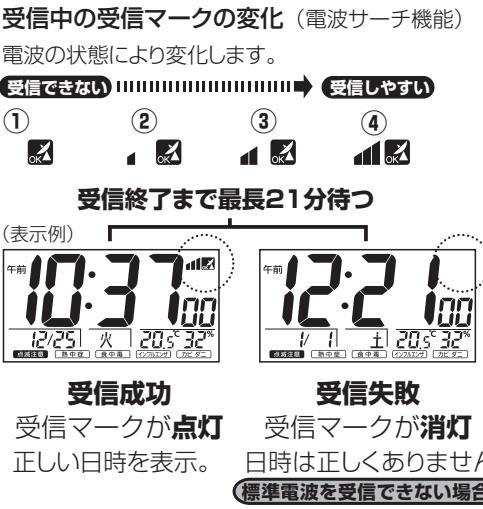
曜日により表示位置が変わります。
受信マーク（受信中点滅）

電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信中の受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。
受信できない → 受信しやすい
① ② ③ ④

受信終了まで最長21分待つ

（表示例）

受信成功
受信マークが**点灯**
正しい日時を表示。

受信失敗
受信マークが**消灯**
日時は正しくありません。
標準電波を受信できない場合へ

●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
●受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

チェック！
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻るボタン**を押すか、**時刻合わせボタン**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

数値を合わせる
進むボタン
時刻合わせボタン
戻るボタン

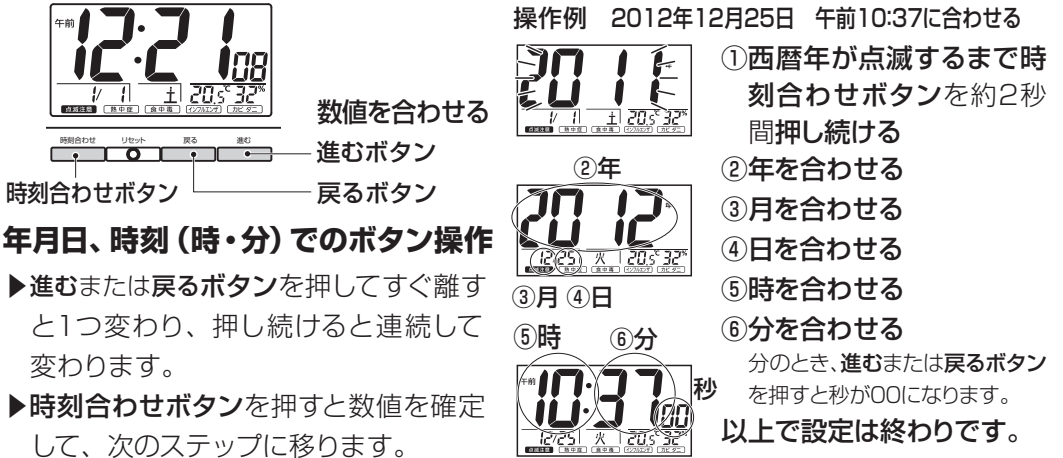
年月日、時刻（時・分）でのボタン操作

▶**進む**または**戻るボタン**を押してすぐ離すと1つ変わり、押し続けると連続して変わります。
▶**時刻合わせボタン**を押すと数値を確定して、次のステップに移ります。

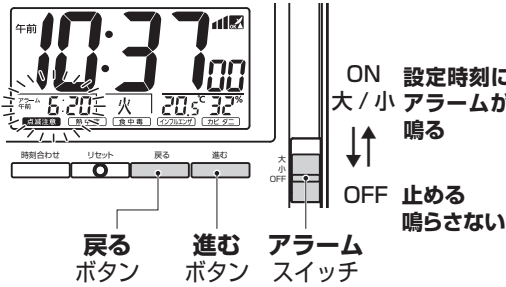
操作例　2012年12月25日　午前10:37に合わせる

①西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける
②年を合わせる
③月を合わせる
④日を合わせる
⑤時を合わせる
⑥分を合わせる
分のとき、**進む**または**戻るボタン**を押すと秒が00になります。

②年　③月 ④日　⑤時 ⑥分

以上で設定は終わりです。

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
●標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

12時間表示のときは午前/午後の表示に注意

進むと戻るボタン操作
押してすぐ離すと1分単位で変わる。
押し続けると連続して変わる。

■ アラーム時刻を合わせる

①アラームスイッチをOFFにする
②進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
③進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

■ アラームスイッチのON/OFF設定

ONにするとアラームマークが点灯して、アラーム時刻を表示

アラームマーク
アラームON
「大」「小」は音の大きさです。

◎スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。
この操作は7回まで繰り返すことができます。
8回目にスヌーズボタンを押すと、アラームマークは点灯表示になります。アラームを止めるには、アラームスイッチをOFFにします。

◎オートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラームスイッチはON（大／小）のままですので、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはOFFにしてください。

◎アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチを「小」または「大」にしてください。設定した時刻にアラームが鳴り出します。

時刻の表示形式を切り替える

時刻合わせボタンを**押してすぐに離す**と午前/午後付12時間表示と24時間表示が切り替わります。
次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●電波の受信中　●アラーム状態
●アラーム時刻、日時の設定中。

表示部照明機能

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。
ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。
照明をしたときは、時計上方より見てください。
※明るい所では、照明の効果は確認できません。

温度・湿度・注意報について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度・湿度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。
※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。
※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
※厳密な温度・湿度管理や証明には使えません。

■測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」−9.9℃より低温
湿度「HH」95%を超えている　「LL」20%未満　「--」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

■注意報の点滅表示　温度・湿度の条件により該当する注意報が点滅します

表示	内容
熱中症	高温環境下で発症しやすくなります。
食中毒	菌が増殖しやすくなります。
インフルエンザ	インフルエンザウイルスによる感染が起こりやすくなります。
カビ・ダニ	カビやダニの生育に適した条件です。

※注意報は、発生の有無を断定するものではありません。空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

⚠注意　電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

必ず守る
電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。
電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（時刻を標準電波で修正しない）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピィ」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピィ」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、**リセットボタン**を押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。標準電波を定期的に受信して標準時に合わせます。

※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。
※受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても受信に成功すると日時を修正します。
※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

リセット操作

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときにリセットボタンを押します。
リセット直後は、2011年1月1日午前12：00、アラーム時刻は午前6：00になります。
受信機能がONのときは、受信を開始します。